

平成27年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 研修室		
開催日時	平成28年5月21日午後14時00分		
会員総数	23名		
出席会員数	15名	内訳	本人出席 7名 委任状提出 8名

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

2. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

平成27年度事業報告

1. グリーンスポーツ鳥取の運営、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① 非営利事業では年度当初の計画に沿って、グリーンフィールドでは水溜まりの改善を含む維持管理を実施し、サッカー、ラグビー、ホッケーの地域密着型のクラブの活動の場を提供し、その活動を支えることができた。
- ② 地域住民が企画するイベントの会場としての利用も完全に定着し、芝生に対する理解を全般に深める役割を果たした。
- ③ 27年度も県内外の新規及び既存の芝生化事業に深く関わり、「鳥取方式®」の活用により税金の無駄遣い削減に貢献できたと共に鳥取県や日本サッカー協会を初めとする多数の自治体や組織に対し継続的に「鳥取方式®」の芝生化に関する技術提供もできた。

2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールドは例年どおり肥料と芝刈りで管理していた。第2、第3については、早く使いたいという住民の声があるので、対応を検討した。
芝生化事業
- ② 全国各地の保育園、小学校、大学、自治体、個人などの芝生化計画の問合せに対してアドバイスし、鳥取方式®が適用できる場合にはそれぞれの状況に応じて、ポット苗、ロール芝による芝生化を提案した。2014年9月～2015年5月まで70件（昨年度約120件）。とともに全国芝生化サポーターとネットワークを通じて、芝生化に関する問い合わせに回答した。
- ③ 鳥取県地域振興部スポーツ課では「平成27年度鳥取方式®の芝生化推進事業」として東部は保育園2ヶ所、西部は保育園3ヶ所、計5ヶ所の芝生化支援事業及び芝生維持管理・技術指導を行なった。
- ④ 鳥取市都市整備部都市計画課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」では21年から継続して芝生化をしており、27年度は湖山池公園グランドゴルフ場を含め13ヶ所25,020㎡芝生化された。

街区公園の芝生化を毎年行うのは全国的には珍しい。

- ⑤ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」として、場所の選定・指導を行っている。全国 37 箇所の保育園・幼稚園・小学校やグラウンドにポット苗（合計 172,185 ㎡）が寄贈された。全国各地の芝生化事業の状況としては、愛知県西尾市では（保育園 5 園・小学校 1 校）、滋賀県近江八幡市（保育園 3 園・小学校 1 校）、滋賀県東近江八幡市（保育園 3 園・小学校 1 園）など行った。
- ⑥ その他事業への支援活動として、熊本市高平台小学校の芝生化を学校の記念行事で行う予定だったが、震災のため平成 29 年度に延期になった。
- ⑦ 芝生の維持管理の指導として、鳥取県立学校維持管理指導助言（高等学校 12 校・養護学校 5 校、）を行なった。また GST と技術契約を結んでいる行政等へ 28 年度維持管理計画書を作り提案した。県外では愛知県西尾市、滋賀県内の学校・運動公園・保育園等芝生化指導助言を行った。
- ⑧ 滋賀県近江八幡市小学校 12 校中 6 校が芝生化したことにより日本サッカー協会より芝生特区第 2 号に認定された。（2015 年 10 月 6 日）

3. EASEフットボールクラブ

田中理事欠席の為ニール理事長より下記の報告があった。

- ① 現在ジュニアは大会にできれば決勝に進出する成績を残している。小学生の人数が多数増え、コーチと予算不足のためクルセールジュニアは休部となった。小学生女子のヴィオレ女子を立ち上げ、大会にも出場している。社会人はフットサルを 2 チームで活動している。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

太田さんより以下の報告があった。

- ① 2015 年はイングランドで行われたラグビーワールドカップの話題が盛り上がった年でもあった。練習は毎週 2 回、27 年度の試合は 2 試合行なった。ジュニアの活動については、ワールドカップの影響があつてか 8 名程の子ども達が練習に参加するようになった。大会は 2 試合参加し、予選リーグでは勝利を収める事ができたので、少しずつ向上をしている。普及活動としては県のトップアスリート事業と八頭町のスポーツイベントに参加し、多くの子ども達にラグビーボールに触れてもらえる機械を得た。

5. エレンシア湖山ホッケークラブ

矢信さんより以下の報告があった。

- ① メンバー大人 9 名、子供 1 名で活動している。毎週土曜日 15 時～17 時で練習を行なった。4 月-「京丹波ホッケーフェスティバル」、9 月-「倉吉ホッケーフェスティバル 2015」に参加、H28.1 月-「鳥取県わくわくホッケーフェスティバル」、2 月-「倉吉ホッケーフェスティバル」等試合に参加した。また、7 月 15 日「中国中学生ホッケー選手権」のジャッジとして 2 名参した。

6. 決算報告

事務局太田より、平成 27 年度の決算報告があった。

27 年度は少しマイナス決算だったと報告があった。

7. 会計監査報告

法人監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

8. 質疑応答・承認

質問及び異議もなく、27 年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

平成28年度事業計画案

1. 芝生化支援事業の見直し等

- ① 今までの方針を継続して、当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成及び地域樹民の生活の中の「芝生の広場」の利用を通じての町づくり促進や青少年の健全育成のため、芝生広場を維持管理すること。また、グリーンフィールドで実施している「鳥取方式®による芝生化」を鳥取県内外の自治体、日本サッカー協会を含む競技団体やスポーツクラブに対して空地、公園、保育園の園庭、スポーツグラウンドの芝生化の支援活動を通じて、「鳥取方式®」の正しい普及に努めること。
- ② 都市整備部「裸足で遊べる公園づくり」として28年度は7箇所行う予定。
- ③ 鳥取県地域振興部スポーツ課の鳥取方式の芝生化促進事業（保育所・幼稚園・小学校の園庭芝生化事業）について要望のある保育園・幼稚園・小学校の芝生化を28年度も行う。28年度は保育園を3園、小学校1校行なう。

2. グリーンフィールドの整備・第2・第3グラウンドの整備

グリーンフィールド横の第2グラウンド・第3グラウンドについては、平成27年度は特別な整備は行っていないので、平成28度は機械を入れて側溝側の土を取って低い所へ入れて馴染ませ、水溜りを直す計画。

3. EASEフットボールクラブ

県内外のチームと交流試合、県外遠征等、積極的に活動する。多くの県内外のチームと交流し試合を行う。フットサルにおいてはミストウーラ主催のリーグ戦を開催する。27年度に立ち上げたヴィオレ（女子チーム）は新たな取り組みとして「U-12女子練習」を月1~2回程度、開催する。小学生・中学生・高校生で活躍できる選手を育成していくのがEASEの役目だと思っている。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

練習と試合については昨年度と同様に活動する予定ある。また普及活動にも取り組み、KRFCの存在と活動を継続してPRしていきたいと考えている。その他、今年度はラグビートップリーグの公式戦が鳥取で開催予定である。スタッフとしての活動が予定される。また、2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピックに向けて、県内の自治体、ラグビー協会も動き出しており、布勢運動公園がキャンプの候補地となっていることから、在鳥取市のクラブとして協力をしていく予定である。

5. エレンシア湖山ホッケークラブ

練習は例年どおりやっていく。2016年はインターハイが開催され、2名が役員参加予定になっている。試合を目標とした練習ではなく、普段の練習を楽しむことを重視していきたい。最近では県外の正規の試合への参加よりも、県内の交流目的の試合の参加が増えている。27年度はメンバーが少なくなったが現在は若干増加してきている。

6. 自治会との連携

産水西壮年団長より、毎年恒例のグリーンフィールドでの納涼祭は7月23日（土）雨天の場合は翌24日（日）に行う。その前に6月19日（日）グリーンフィールドの側溝掃除を行うので、スポーツクラブ等総会の参加者に協力の依頼があった。

7. 28年度の予算案

決算同様に平成28年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。

8. 質疑応答・承認

決算報告書について、各ページに今年度と前年度の数字が入っていると比較しやすく、わかりやすいという意見が上がり、来年度より総会用として様式を変えることにした。その他の質問及び異議はなく満場一致により承認された。

9. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後2時55分に閉会を宣した。

1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

1. 閉会の挨拶

スミス理事長より、鳥取市教育委員会は「鳥取方式[®]」を取り入れないが鳥取市の小学校は県の補助金を受けている。河原第一小学校、日進小学校、今年度は遷喬小学校の校庭を芝生化する。遷喬小学校は校舎と校庭が道路を挟んで建っており、校庭を芝生化するには校舎側から水道を引く工事が必要となる。鳥取市が当初から工事費用の負担を否定していたがPTAの圧勝で芝生化することになった為、水道工事は鳥取市が行うことになった。今まで小学校の校庭芝生化について全く予算を出さなかった過去に比べ進展がみられた。これからも強引ではなく、しつこく説得していきたいと思っている。

との挨拶で、総会を閉会した。

平成28年5月21日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長

谷尾 洋介



会員

ニール スミス



会員

中野 淳一

